Dell™ Studio 1735

クイックリファレンスガイド

モデル PP31L

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、および警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

本書に使用されている商標：Dell、Dell のロゴ、DellConnect、Wi-Fi Catcher、YOURS IS HERE、および MediaDirect は Dell Inc. の商標です。Intel、Celeron、および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標で、Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. 所有の登録商標で、Dell Inc. の使用はライセンスに基づいています。

この文書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル PP31L

2008 年 3 月　　P/N C052C　Rev.A00

目次

情報の検索方法

メモ：一部の機能はオプションのため、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能もあります。

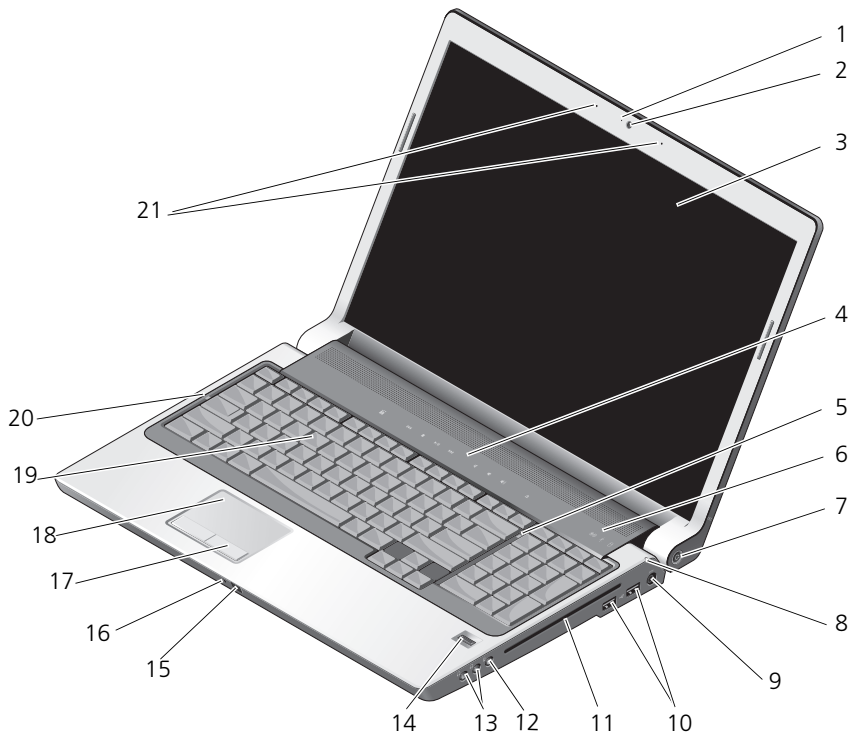
メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
サービスタグおよびエクスプレスサービスコード このコードはコンピュータの底部に記載されています。	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。
モデル番号 この番号は、コンピュータ底部にあるサービスタグの隣に記載されています。	お使いのコンピュータのモデル番号
Microsoft Windows ライセンスラベル このラベルはコンピュータのバッテリベイにあります。	お使いのオペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー） **メモ：**このラベルは、Microsoft オペレーティングシステムを搭載しているシステムでのみご利用いただけます。
Drivers and Utilities メディア	• コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ • デバイスのマニュアル • ノートブックシステムソフトウェア（NSS） 『Drivers and Utilities』メディアに収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。 **メモ：**ドライバとマニュアルのアップデートに関しては、**support.jp.dell.com** をご覧ください。
セットアップ図	お使いのコンピュータのセットアップ方法
サービスマニュアル デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でご利用いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法

マニュアル / メディア / ラベル	内容
Dell テクノロジガイド Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）、およびデルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でご利用いただけます。	• お使いのオペレーティングシステムについて • 周辺機器の使い方とメンテナンス • インターネット、E- メールなどのテクノロジについて
Dell サポートセンター	• セルフヘルプ（トラブルシューティング、セキュリティ、システムパフォーマンス、ネットワーク / インターネット、バックアップ / リカバリ、および Windows Vista®） • 警告（テクニカルサポートによるお使いのコンピュータに関する警告） • Dell によるサポート（DellConnect™ による技術サポート、カスタマーサービス、トレーニングとチュートリアル、デルオンコールによるハウツーヘルプ、および PC CheckUp によるオンラインスキャン） • お使いのシステムについて（システムマニュアル、保証情報、システム情報、アップグレードとアクセサリ） **メモ :** お使いのコンピュータで利用できる Dell サポートセンターの機能は、構成によって異なります。
Dell QuickSet ヘルプ	ネットワークアクティビティ、ホットキー、および Dell QuickSet で制御されるその他のアイテムに関する詳細情報 Dell QuickSet ヘルプを表示するには、Windows タスクトレイの Dell QuickSet アイコンを右クリックします。

1

お使いのコンピュータについて

正面図および右側面図

1	カメラインジケータ（オプション）	2	カメラ（オプション）
3	ディスプレイ	4	メディアコントロールボタン
5	Num Lock ライト	6	デバイスステータスライト
7	電源ボタン	8	バッテリステータスライト
9	AC アダプタコネクタ	10	USB コネクタ（2）
11	光学ドライブ	12	マイクコネクタ
13	ヘッドフォンコネクタ（2）	14	指紋リーダー（オプション）
15	Consumer IR	16	内蔵単一アナログマイク
17	タッチパッドボタン	18	タッチパッド
19	キーボード	20	Caps Lock ライト
21	デュアルデジタルアレイマイク（オプション）		

カメラインジケータ（オプション）— カメラがオンの状態になっていることを示します。お使いのコンピュータのご注文時に選択した構成によっては、コンピュータにカメラが搭載されていない場合があります。

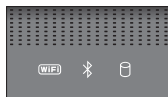
カメラ（オプション）— ビデオキャプチャ、会議、およびチャット用のビルトインカメラです。お使いのコンピュータのご注文時に選択した構成によっては、コンピュータにカメラが搭載されていない場合があります。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

メディアコントロールボタン — CD、DVD、およびメディアプレーヤの再生をコントロールします。

🎬	Dell MediaDirect の起動	🔇	音を消す
⏮	直前のトラックを再生	🔉	音量を下げる
■	停止	🔊	音量を上げる
▶/II	再生または一時停止	⏏	ディスクを取り出す
⏭	直後のトラックを再生		

NUM LOCK ライト — テンキーパッド（Num Lock）機能が有効になると点灯します。

デバイスステータスライト

キーボード上部のライトが示す意味は、以下のとおりです。

Wi–Fi ステータスライト – ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効、または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します（14 ページの「ワイヤレスオン / オフスイッチ」を参照）。

Bluetooth® ステータスライト – Bluetooth ワイヤレステクノロジカードが有効になると点灯します。

メモ : Bluetooth ワイヤレステクノロジカードは、オプション機能です。お使いのコンピュータと一緒にカードを注文された場合のみ ライトが点灯します。詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能だけを無効にするには、タスクトレイにある アイコンを右クリックし、**Disable Bluetooth Radio**（Bluetooth ラジオの無効化）をクリックします。

すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効、または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します（14 ページの「ワイヤレスオン / オフスイッチ」を参照）。

ハードディスクドライブ動作ライト – コンピュータがデータを読み取り、または書き込みしている場合に点灯します。白色のライトの点滅はハードディスクドライブの動作を示します。

注意 : データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。

電源ボタン — コンピュータの電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します。

注意 : コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

注意 : データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

バッテリステータスライト — 点灯、または点滅してバッテリの充電状態を示します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 ライトは次のように動作します。

– 白色の点灯：バッテリ充電中

– 消灯：バッテリが充分に充電されている

コンピュータをバッテリで作動している場合、 ライトは次のように動作します。

– 消灯：バッテリが充分に充電されているか、バッテリから通電されていない

– 橙色の点灯：バッテリの充電残量が低下している

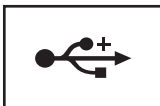
– 橙色の点滅：バッテリの充電残量が非常に低下している

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。AC アダプタは、AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

警告： AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意：ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

メモ：電源コードをアダプタにしっかりと接続し、電源を入れた時にアダプタのライトが点灯していることを確認します。

USB コネクタ

	マウス、キーボードまたはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

光学ドライブ — 光学ドライブの詳細については、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

メモ : 光学ドライブでは、標準の 12 cm 円形ディスクがサポートされています。変形ディスクや標準以外のディスクはサポートされていません。

オーディオコネクタ —

のコネクタにはヘッドフォンを取り付けます。
のコネクタにはマイクを取り付けます。

指紋リーダー（オプション）— Dell™ コンピュータのセキュリティ保護に使用します。指紋リーダーの上で指をスライドさせると、ユーザー固有の指紋を使用して身元確認が行われます。制御セキュリティ管理ソフトウェア、DigitalPersona Personal を使用すると、システムトレイに、リーダーが使用できる状態であるかを示す指紋リーダーアイコンが表示され、メニュー上の主要なコンポーネントや機能に簡単にアクセスできます。リーダーが指紋をスキャンできる状態である場合は、通常、リーダーアイコンが表示されます。スキャンを実行できない場合は、赤色の X が、リーダーアイコン上に表示されます。また、指紋スキャンが処理されている間は、アイコンが赤く点滅します。

DigitalPersona Personal の有効化、および使用方法の詳細については、**Start**（スタート）→ **Programs**（プログラム）→ **DigitalPersona Personal** をクリックしてください。このメニューでは次のサブ項目が利用できます。

- **Fingerprint Enrollment Wizard**（指紋登録ウィザード）- 指紋を登録します。
- **Fingerprint Logon Manager**（指紋ログオンマネージャ）- Fingerprint Logons（指紋ログオン）に関連するプロパティを追加、削除、または変更します。
- **Import and Export Wizard**（インポートおよびエクスポートウィザード）- 他のコンピュータに指紋をインポートする、またはユーザーレベルのバックアップとして使用するために、指紋情報をファイルへエクスポートします。この機能により、お使いのコンピュータのアップグレード時や指紋リーダーを 2 台目のコンピュータに追加する場合に、データを再入力する必要がなくなります。ただし、DigitalPersona Personal データのエクスポート先のコンピュータで指紋を登録する必要があります。

– **Properties**（プロパティ）- DigitalPersona Personal 設定および製品の動作を設定します。詳細に関しては、**DigitalPersona Online Help**（DigitalPersona オンラインヘルプ）→ **Using DigitalPersona Personal Features**（DigitalPersona Personal 機能の使い方）→ **General Settings**（全般設定）を参照してください。
– **Check for Updates**（アップデートのチェック）- ソフトウェアアップデートの提供とインストール、およびアップデートオプションのチェックを行います。この機能を使用するには、インターネットに接続している必要があります。アップデートは手動、または自動でチェックできます。
– **Help**（ヘルプ）- HTML 形式のヘルプです。

CONSUMER IR — 特定のソフトウェアアプリケーションを Dell Travel Remote でコントロールすることを可能にする、コンピュータ前面にある赤外線センサです。

内蔵単一アナログマイク — 会議およびチャット用の内蔵マイクです。カメラを注文いただいた場合、このマイクは搭載されません。このマイクの代わりに、お使いのコンピュータにはデュアルデジタルアレイマイク（12 ページの「デュアルデジタルアレイマイク（オプション）」を参照）がカメラの横に搭載されます。

タッチパッドボタン — タッチパッドを使ってディスプレイ上でカーソルを動かすときに、マウスのボタンと同じようにこれらのボタンを使用します。

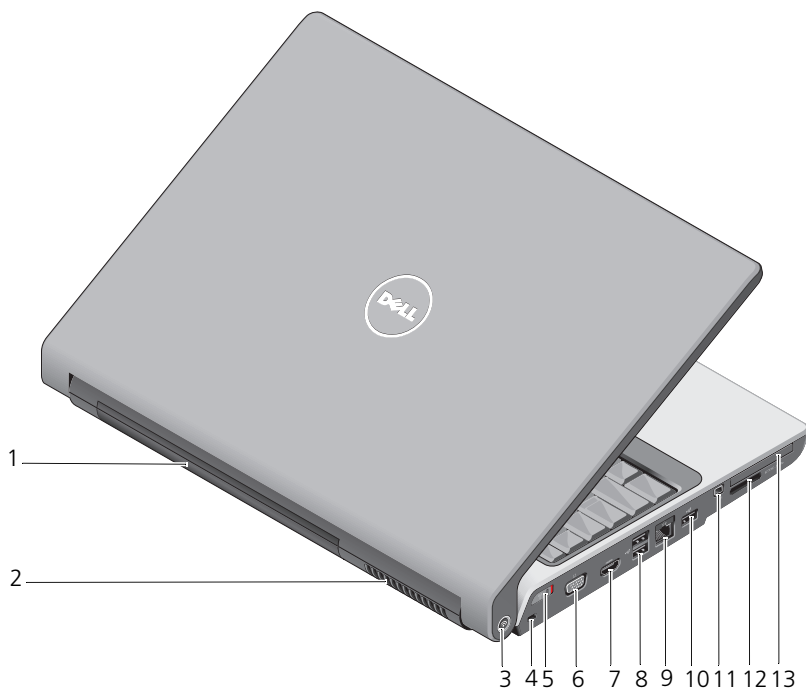
タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます。

キーボード — バックライト付きキーボードは、オプション機能です。バックライト付きキーボードを購入された場合は、Dell QuickSet で設定を変更できます。キーボードの詳細については、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

CAPS LOCK ライト — 英字が常に大文字で入力される（Caps Lock）機能が有効になると点灯します。

デュアルデジタルアレイマイク（オプション）— 会議およびチャット用の高品質ビルトインマイクです。これらマイクはノイズを除去し、さらに上質なサウンドを提供します。

 メモ : デジタルアレイマイクはオプションであり、オプションのカメラを注文された場合に限り、お使いのコンピュータに搭載されます。このマイクの代わりに、お使いのコンピュータには内蔵単一アナログマイクが搭載されます。

背面図および左側面図

1	バッテリ	2	通気孔
3	Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ	4	セキュリティケーブルスロット
5	ワイヤレスオン / オフスイッチ	6	VGA コネクタ
7	HDMI コネクタ	8	USB コネクタ（2）
9	ネットワークコネクタ（RJ-45）	10	USB コネクタ
11	IEEE 1394 コネクタ	12	8-in-1 メディアカードリーダー
13	ExpressCard スロット		

バッテリ — バッテリを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続せずに使用することができます。

 メモ : AC アダプタでコンセントにコンピュータを接続すると、画面は最も明るく表示され、バッテリの充電も同時に行われます。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

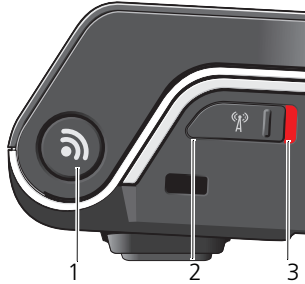
DELL WI-FI CATCHER™ ネットワークロケータ — このボタンを数秒間押して、周辺のワイヤレスネットワークを取り込みます。

Wi-Fi Catcher ネットワークロケータには、次のように動作するライトが搭載されています。

- 白色の点滅：ネットワークを検索中
- 10 秒間白色で点灯してから消灯：ネットワークが検出された
- 消灯（白色で 10 回点滅した後に消灯）：信号が検出されない

お使いのコンピュータは出荷された時点で、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは有効かつ、設定済みです。Wi-Fi Catcher ネットワークロケータの詳細および Dell QuickSet による機能の有効化に関しては、タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックしてから、**Help**（ヘルプ）を選択します。

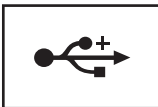
セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。

ワイヤレスオン / オフスイッチ — このスイッチを使用して、ワイヤレス LAN カードおよび Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードなどのワイヤレスデバイスを素早くオン、またはオフにします。お使いの Dell コンピュータのワイヤレススイッチは、Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータ（14 ページの「Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照）を使用して周辺のワイヤレスネットワークを取り込みます。お使いのコンピュータが出荷された時点で、ワイヤレススイッチは有効かつ、設定済みです。Dell QuickSet または BIOS（セットアップユーティリティ）で、設定を変更できます。

1	Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ
2	オフ：ワイヤレスデバイスを無効にする
3	オン：ワイヤレスデバイスを有効にする

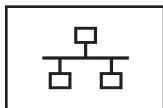
VGA コネクタ

	モニターなどのビデオデバイスを接続します。

HDMI コネクタ —HDMI（ハイ・デフィニッション・マルチメディア・インタフェース）コネクタでは、非圧縮全デジタル信号を伝達し、高解像度の映像および音声を実現します。

USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

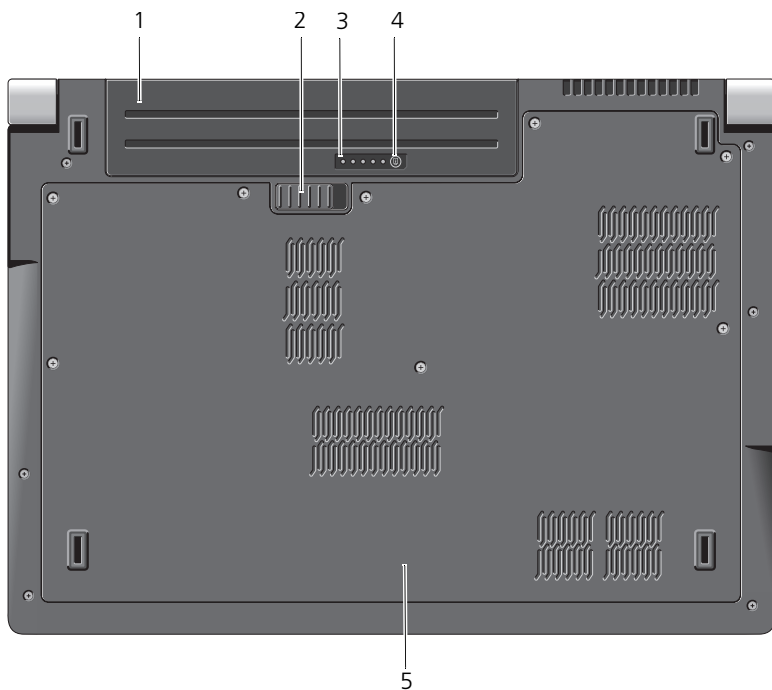
 注意 : ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 個のライトは、ワイヤネットワーク接続のステータスと活動状況を示します。 ネットワークアダプタの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属しているデバイスのユーザーズガイドを参照してください。

IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。

8-IN-1 メディアカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。コンピュータには、出荷時にスロットへプラスチックのダミーカードが取り付けられています。8-in-1 メディアカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD メモリカード
- SDIO カード
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード
- 高速 SD
- 高密度 SD

EXPRESSCARD スロット — 1 枚の ExpressCard をサポートします。コンピュータには、出荷時にスロットへプラスチックのダミーカードが取り付けられています。

底面図

1	バッテリ	2	バッテリリリースラッチ
3	バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ	4	バッテリ充電ボタン / 機能ゲージボタン
5	ベースカバー		

バッテリ — バッテリを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続せずに使用することができます。

バッテリリリースラッチ — バッテリを取り外します。

バッテリ充電ボタン / 機能ゲージボタン — このボタンを押して、バッテリ充電およびバッテリ機能の情報を取得します。

バッテリ充電ゲージ / 機能ゲージ — バッテリ充電およびバッテリ機能の情報を提供します。

1 回押して、バッテリ充電を確認します。4 つのライトはそれぞれ、バッテリの総充電量の約 20 % を表します。どのライトも点灯していない場合は、バッテリの充電残量がありません。

3 秒間押し続けて、バッテリの機能または状態を確認します。どのライトも点灯しなければ、バッテリの機能は良好です。各ライトは機能低下の割合を示します。

詳細に関しては、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

ベースカバー —プロセッサ、ハードディスクドライブ、メモリモジュール、ワイヤレス LAN、ワイヤレス WAN、および Ultra Wideband（UWB）カードの実装部です。

バッテリの取り外しおよび取り付け

警告 : 適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリを使用しないでください。

警告 : この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

注意 : コネクタへの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから外してください。

注意 : コンピュータをスリープ状態にしてバッテリを交換する場合は、1 分以内にバッテリを交換してください。1 分が経過するとコンピュータがシャットダウンし、保存されていないデータは失われます。

バッテリを取り外すには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. コンピュータを裏返します。
3. バッテリリリースラッチをコンピュータの側面方向にカチッと収まるまでスライドさせます。
4. バッテリをスライドさせてベイから取り出します。

1	バッテリ	2	バッテリリリースラッチ
3	SIM カードスロットインジケータ		

バッテリを取り付けるには、バッテリが所定の位置でカチッと収まるまでベイにスライドさせます。

ベースカバーの取り外しおよび取り付け

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意を参照してください。

警告：この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

注意： 静電放電を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの裏面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

1	ベースカバー	2	ベースカバータブ

ベースカバーを取り外すには、以下の手順を実行します。

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 バッテリを取り外します（18 ページの「バッテリの取り外しおよび取り付け」を参照）。

3 ベースカバー上のネジを緩め、上図のようにコンピュータからカバーを持ち上げます。

部品の取り外し、および取り付けの手順に関しては、**support.jp.dell.com** で『サービスマニュアル』を参照してください。

警告：『サービスマニュアル』の手順を参照するまで、プロセッサのサーマル冷却アセンブリまたはその他ベースカバー内のどの部品にも触れないでください。

ベースカバーを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1 ベースカバーのタブをコンピュータの底部に合わせます。

2 ベースカバー上のネジを締めます。

3 バッテリを取り付けます（18 ページの「バッテリの取り外しおよび取り付け」を参照）。

2

仕様

メモ：提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの設定の詳細に関しては、**Start**（スタート） をクリックして、**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックし、お使いのコンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

プロセッサ	
プロセッサタイプ	• Intel® Celeron® • Intel® Core™ 2 Duo • Intel® Pentium® デュアルコア
L1 キャッシュ	128 KB（Intel：コアごとに 64 KB）
L2 キャッシュ	1 MB（Intel Celeron、Intel Pentium デュアルコア） 2 MB、3 MB、または 6 MB （Intel Core 2 Duo）
外付けバスの周波数 フロントサイドバス（Intel）	533 MHz（Intel Celeron、Intel Pentium デュアルコア） 800/667 MHz （Intel Core2 Duo）

システム情報	
システムチップセット	モバイル Intel Express GM/PM 965
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネル（2）64 ビットバス
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	2 MB
グラフィックスバス	PCI-E X16
PCI バス （ビデオコントローラ用 PCI-Express）	32 ビット

ExpressCard	

メモ：ExpressCard のスロットは、ExpressCard 専用に設計されています。PC Card はサポートしません。

メモ：PCMCIA がご利用になれない地域もあります。

ExpressCard コントローラ	Intel ICH8M
ExpressCard コネクタ	ExpressCard スロット（54 mm）x 1
サポートするカード	ExpressCard/34（34 mm） ExpressCard/54（54 mm） 3.3 V および 1.5 V
ExpressCard コネクタサイズ	26 ピン

8-in-1 メモリカードリーダー	
8-in-1 メモリカードコントローラ	Ricoh R5C833
8-in-1 メモリカードコネクタ	8-in-1 コンボカードコネクタ
サポートするカード	• SD • SDIO • マルチメディアカード（MMC） • メモリスティック • メモリスティック PRO • xD ピクチャカード • 大容量 SD • 高密度 SD

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM コネクタ x 2
メモリモジュールの容量	512 MB、1 GB、および 2 GB
メモリのタイプ	667 MHz SODIMM DDR2
最小メモリ設定	1 GB
最大メモリ設定	4 GB

メモ：デュアルチャネル帯域幅の機能を活用するには、両方のメモリスロットを使用し、メモリサイズを一致させる必要があります。

メモ：メモリの一部はシステムファイル用に確保されているため、表示される使用可能なメモリ容量は、取り付けられているメモリの最大容量を反映しません。

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ × 2
IEEE 1394a	ノンパワード 4 ピン小型コネクタ
Consumer IR	Philips RC6 互換センサー（受信のみ）
ミニカード	Type IIIA ミニカードスロット x 2、ハーフサイズミニカードスロット x 1
HDMI コネクタ	19 ピン
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
USB	USB 2.0 準拠 4 ピンコネクタ x 5
ビデオ	15 ホールコネクタ（メス）

通信	
モデム：	
タイプ	外付け V.92 56K USB モデム
コントローラ	ハードウェアモデム
インタフェース	ユニバーサルシリアルバス（USB）
ネットワークアダプタ	システム基板上の 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵ワイヤレス LAN、ワイヤレス WAN、UWB （オプション） ミニカード Bluetooth® ワイヤレステクノロジ

ビデオ	
外付け：	
ビデオタイプ	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	ATI Mobility Radeon HD 3650
ビデオメモリ	GDDR2 256 MB

ビデオ（続き）	
UMA：	
ビデオタイプ	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	モバイル Intel GMA X3100
ビデオメモリ	最大 358 MB の共有メモリ
LCD インタフェース	Low Voltage Differential Signaling （LVDS）
テレビサポート	HDMI 1.2

オーディオ	
オーディオタイプ	5.1 チャネルハイ・デフィニッション・オーディオ
オーディオコントローラ	IDT 92HD73C
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
外付け	マイク入力 / ライン入力 / サラウンドライン出力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ x 2
スピーカ	4 Ω スピーカ × 2
内蔵スピーカアンプ	チャネルごとに 2 ワット（4 Ω）
ボリュームコントロール	プログラムメニューおよびメディアコントロールボタン

ディスプレイ	
タイプ（TrueLife）	17.0 インチ WXGA+ TrueLife 17.0 インチ WLED WXGA+ TrueLife 17.0 インチ CCFL WUXGA TrueLife
寸法：	
縦幅	229.5 mm
横幅	367.2 mm
対角線	433.02 mm

ディスプレイ（続き）	
ネイティブ解像度：	
WXGA+ TrueLife	262,000 色で 1440 x 3（RGB）x 900
WLED WXGA+ TrueLife	262,000 色で 1440 x 3（RGB）x 900
CCFL WUXGA TrueLife	262,000 色で 1920 x 3（RGB）x 1200
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0（閉じた状態）～ 140°
輝度	
WXGA+ TrueLife	220 cd/m^2
WLED WXGA+ TrueLife	300 cd/m^2
CCFL WUXGA TrueLife	260 cd/m^2
可視角度：	
水平方向	± 40°（WXGA+ TrueLife） ± 55°（WLED WXGA+ TrueLife） ± 60°（CCFL WUXGA TrueLife）
垂直方向	+15°/–30°（WXGA+ TrueLife） ± 45°（WLED WXGA+ TrueLife） +40°/–50°（CCFL WUXGA TrueLife）
ピクセルピッチ：	
WXGA+ TrueLife	0.2550 mm
WLED WXGA+ TrueLife	0.2550 mm
CCFL WUXGA TrueLife	0.19125 mm
コントロール	輝度はキーボードショートカットキーによって調整可能です（詳細は、『Dell テクノロジガイド』を参照）。

メディア	
ドライブ	デュアルレイヤ DVD+/-RW ドライブ
インタフェース	Roxio® Creator® DE Dell MediaDirect™

キーボード	
キー数	101 (U.S. およびカナダ)、102（ヨーロッパ)、105（日本)、104（ブラジル）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	71.7 mm のセンサー感知領域
縦幅	34.0 mm の長方形

カメラ（オプション）	
ピクセル	2.0 メガピクセル
ビデオ解像度	320 x 240 ～ 1600 x 1200（30fps で 640 x 480）
斜め可視角度	66°

バッテリ	
タイプ	9 セル「スマート」リチウムイオン 6 セル「スマート」リチウムイオン
寸法：	
長さ	67.6 mm（9 セル） 47.5 mm（6 セル）
縦幅	20.88 mm
横幅	209.9 mm
重量	0.48 kg（9 セル） 0.32 kg（6 セル）
電圧	11.1 VDC（6/9 セル）
充電時間（概算）：	
電源が切れている場合	3 時間

バッテリ （続き）	
動作時間	バッテリ駆動時間は動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。 バッテリの動作時間の詳細については、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
コイン型電池	CR-2032

AC アダプタ	
タイプ	90W
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電流	4.62 A （90 W）（連続稼動の場合）
出力電力	90W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
90 W	
縦幅	16 mm
横幅	70 mm
長さ	147 mm
重量（AC 電源コードを除く）	
90W	0.345 kg
温度範囲：	
動作時	0 ～ 40 ℃
保管時	-40 ～ 70 ℃

AC アダプタ （続き）	
コネクタの種類：	
DC コネクタ	3 ピン、7.4 mm プラグ
AC コネクタ	2 ピン、C7（日本のみ） 3 ピン、C5

寸法	
縦幅	30 ～ 43 mm
横幅	392 mm
長さ	288.15 mm
重量（6 セルバッテリ装着の場合）：	3.55 kg

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	10 ～ 95% （結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（動作時は、動作中かつデータにアクセスしていない状態のハードディスクドライブおよび 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定。保管時は、ヘッド固定位置のハードディスクドライブおよび 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定）：	
動作時	110 G
保管時	160 G

環境 （続き）	
高度（最大）:	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

3

トラブルシューティング

Dell テクニカル Update Service

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E- メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知の頻度をカスタマイズできます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

ご利用可能な診断プログラム

ご購入の Dell コンピュータの機種によっては、ハードディスクドライブのユーティリティパーティションから使用できる、拡張 Dell 32 Bit Diagnostics が追加されている場合があり、さらに詳細なトラブルシューティングを提供します。

PSA 診断および Dell 32 Bit Diagnostics を使用する場合

コンピュータに問題が生じた場合、テクニカルサポートに問い合わせる前に、42 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」のチェック事項を実行し、PSA 診断および Dell 32 Bit Diagnostics を実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

メモ : PSA および Dell 32 Bit Diagnostics は、Dell コンピュータ上のみで動作します。

セットアップユーティリティを起動して、お使いのコンピュータの設定情報を見直し、テストしたいデバイスがセットアップユーティリティに表示されており、有効であることを確認します（セットアップユーティリティに関する詳しい情報は、『Dell テクノロジガイド 』を参照）。

Dell 32 Bit Diagnostics をハードディスクドライブ またはお使いの『Drivers and Utilities』メディアから起動します。

コンピュータからの PSA 診断の起動

メモ : コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルまでお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ : この項で参照されている、ユーティリティパーティションから起動する Dell 32 Bit Diagnostics を使用したトラブルシューティングは、お使いのコンピュータで利用できる場合とできない場合があります。

1 コンピュータが電源コンセントに接続されていることを確認します。

2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

3 PSA 診断を次の 2 つの方法のいずれかで開始します。

a DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから Diagnostics（診断）を選択し、<Enter> を押します。

メモ : キーを押すタイミングが遅れて、オペレーションシステムのロゴが表示されてしまった場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

メモ : オプション B を実行する前に、コンピュータの電源を切る必要があります。

b コンピュータが起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

画面の指示に従い、**Diagnostics**（診断）を選択して PSA の一連のテストを開始します。コンピュータはその後、システム基板、キーボード、ハードディスクドライブ、ディスプレイの初期テスト一連である起動前システムアセスメントを実行します。

- アセスメント中に入力のプロンプトが表示された場合は、入力を行います。
- 問題が検出された場合、コンピュータはビープ音を出して停止します。アセスメントを停止してオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

起動前システムアセスメントが無事に終了し、お使いのシステムに 32 Bit Diagnostics が搭載されている場合は、`Booting Dell Diagnostics Utility Partition. Press any key to continue`（Dell Deiagnostics（診断）ユーティリティパーティションを起動しています。続けるには任意のキーを押します）というメッセージが表示されます。

4 任意のキーを押して Dell 32 Bit Diagnostics を起動します。

Dell 32 Bit Diagnostics を『Drivers and Utilities』メディアから起動する場合

メモ : 購入いただいた Dell コンピュータの機種によっては、この項で参照されている、『Drivers and Utilities』メディアから使用できる、拡張 Dell 32 Bit Diagnostics が含まれていない場合があります。

1. 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
3. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   注意 : キーボードのキーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、起動デバイスメニュー が表示されるまで、<F12> を押して放す操作を等間隔で行ってください。

4. 起動デバイスメニューで、上下矢印キーを使って **CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示してから、<Enter> を押します。

   メモ : クイックブート機能により、一回のみ起動順序が変更されます。再起動すると、コンピュータはセットアップユーティリティで指定された起動順序に従って起動します。

5. 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
6. `1` と入力して『Drivers and Utilities』メニューを起動し、<Enter> を押します。
7. 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
8. Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** から、実行したいテストを選びます。

   メモ : エラーコードと問題の説明を正確に書き留め、画面の指示に従います。

9. すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** に戻ります。
10. 『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、**Main Menu** を閉じて Diagnostics（診断）を終了します。コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

メモ： コンピュータの完全なテストを実行する場合は、Test System を選択することをお勧めします。

オプション	機能
Test Memory	スタンドアロンメモリのテストを実行
Test System	システムの Diagnostics（診断）を実行
Exit	Diagnostics（診断）の終了

メインメニューから Test System オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

メモ： コンピュータのデバイスの完全なチェックを実行する場合は、Extended Test を選択することをお勧めします。

オプション	機能
Express Test	システムデバイスのクイックテストを実行します。このテストは通常 10 ～ 20 分かかり、途中でユーザーが操作する必要はありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定できる可能性が増します。
Extended Test	システムデバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、時々表示される個々の質問に回答を入力する必要があります。
Custom Test	システム内の特定のデバイスをテストします。このオプションを使用して、実行するテストをカスタマイズすることができます。
Symptom Tree	一般的な症状が一覧表示され、発生している問題の症状に基づいてテストを選択できます。

テスト中に問題が検出されると、エラーコードと問題を説明するメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。問題を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ： お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。

以下のタブには、**Custom Test** または **Symptom Tree** オプションから実行されるテストの追加情報が表示されます。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストの説明が表示されます。テスト実行の要件があれば、その説明も表示されます。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、およびさまざまな内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

Dell Support Center（デルサポートセンター）

Dell Support Center（デルサポートセンター）は、必要なサービス、サポートおよびシステム特有 の情報を見つけるのに役立ちます。Dell Support Center（デルサポートセンター）および利用できるサポートツールの詳細に関しては、**support.jp.dell.com** の **サービス** タブをクリックしてください。

タスクバーの アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。Dell Support Center（デルサポートセンター）ホームページには次の項目にアクセスするリンクがあります。

- セルフヘルプ（トラブルシューティング、セキュリティ、システムパフォーマンス、ネットワーク / インターネット、バックアップ / リカバリ、および Windows Vista）
- 警告（テクニカルサポートによるお使いのコンピュータに関する警告）
- Dell によるサポート（DellConnect™ によるテクニカルサポート、カスタマサービス、トレーニングおよびチュートリアル、デルオンコールによるハウツーヘルプ、および PC CheckUp によるオンラインスキャン）
- お使いのシステムについて（システムマニュアル、保証情報、システム情報、アップグレードとアクセサリ）

Dell Support Center（デルサポートセンター）ホームページの上部には、お使いのコンピュータのモデル番号が、サービスタグ、エクスプレスサービスコードと共に表示されます。

Dell Support Center（デルサポートセンター）の詳細に関しては、Dell テクノロジガイドを参照してください。Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）、およびデルサポートサイトでご利用いただけます。

ドライブの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

以下をチェックしながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します —

- **Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）をクリックします。

ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブを確認します —

- 別の CD、DVD または BD を挿入して、元のメディアに問題がないことを確認します。
- 起動可能メディアを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします —『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

ケーブル接続を確認します

ハードウェアの互換性を確認します — ソフトウェアおよびハードウェア問題のトラブルシューティングの手順は、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します —31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照してください。

ハードディスクドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードディスクドライブが高温になっていると、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1. **Start**（スタート）→ **Computer**（コンピュータ）をクリックします。
2. **Local Disk (C:)**（ローカルディスク（C:)）を右クリックします。

3 **Properties**（プロパティ）→ **Tools**（ツール）→ **Check Now**（今チェックする）をクリックします。

 メモ : User Account Control（ユーザーアカウント制御）ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。管理者でない場合は、目的の操作を続けられるように管理者に連絡します。

4 **Scan for and attempt revocery of bad sectors**（不良なセクタをスキャンし回復する）にチェックマークを付けてから **Start**（スタート）をクリックします。

エラーメッセージ

以下をチェックしながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません（36 ページの「ドライブの問題」を参照）。

データエラー — ハードディスクドライブからデータを読むことができません（36 ページの「ドライブの問題」を参照）。

使用可能メモリが減少しています — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを装着しなおし、必要であればそれらを交換します（メモリモジュールの交換に関する手順は『サービスマニュアル』を参照）。

ディスク C: の初期化失敗 — ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

ドライブの準備ができていません — 操作を続行する前に、ベイにハードディスクドライブがある必要があります。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます。

拡張メモリの容量が変更されています — NVRAM に記録されているメモリ容量が、コンピュータに取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。再度エラーが表示される場合は、デルにお問い合わせください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には、¥/:*?“<>| といった文字は使用できません — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

ゲート A20 障害 — メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

一般的な障害 — オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば、`Printer out of paper` [プリンタの用紙がありません]）が付きます。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

ハードディスクドライブ障害 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

ハードディスクドライブ読み取り障害 — ハードディスクドライブが不良である可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

起動可能なメディアを挿入します — オペレーティングシステムは、CD などの起動用以外のメディアから起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入します。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。このメッセージは、メモリモジュールの取り付け後に最もよく表示されます。セットアップユーティリティで、該当するオプションを修正します。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Stuck Key** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

MEDIADIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell MediaDirect™ では、ライセンス付きファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、そのファイルの再生はできません。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。再度プログラムを実行してみます。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

ハードディスクドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが破損している可能性があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

充分なメモリまたはリソースがありません。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおしてください — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードディスクドライブを取り付けなおします。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

オプション ROM のチェックサムが正しくありません —オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 開こうとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1 **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）をクリックします。
2 **Program**（プログラム）で、**Uninstall a Program**（プログラムのアンインストール）をクリックします。
3 削除するプログラムを選択します。
4 **Uninstall**（アンインストール）をクリックして、画面に表示される指示に従います。
5 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブに不良セクターがあるか、FAT が破損している可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。手順に関しては、Windows ヘルプとサポート（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします）を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、データをバックアップして、ハードディスクドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンエラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

内部時計の電源損失 — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試み、それからすぐにプログラムを終了します。再度メッセージが表示される場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

内部時計の停止 — システム設定をサポートする予備バッテリを、再充電する必要がある可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

内部時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date** と **Time** オプションの設定を修正します。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

X:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告：バッテリの充電残量が極めて低下しています — バッテリの充電量が不足しています。バッテリを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止モード を有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

フリーズおよびソフトウェアの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

コンピュータが起動しない

AC アダプタを確認します — AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します。

コンピュータの応答が停止した

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを最低 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを起動しなおします。

プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す

プログラムを終了します —

1 <Crtl><Shift><Esc> を同時に押します。
2 **アプリケーション** タブをクリックし、反応しなくなったプログラムを選択します。
3 **タスクの終了** をクリックします。

メモ : コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面の指示に従ってください。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたは CD に収録されています。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します — プログラム互換性とは、Windows の以前のバージョン用に作成されたプログラムを実行できる Windows のモードです。詳細に関しては、Windows ヘルプとサポートで、プログラム互換性ウィザードというキーワードを検索してください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを最低 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを起動しなおします。

メモリの問題

以下をチェックしながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。
- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照）。

電源の問題

以下をチェックしながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスリープ状態に入っています。電源ボタンを押してスリープ状態を終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリを充電します — バッテリが充電されていない可能性があります。

1 バッテリを取り付けなおします。
2 AC アダプタを使用して、コンピュータをコンセントに接続します。
3 コンピュータの電源を入れます。

メモ : バッテリ駆動時間（バッテリの充電が保持されている時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリの駆動時間は、使用頻度および使用状況によって変わることから、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリを購入する必要がある場合もあります。

バッテリステータスライトを確認します — バッテリステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリは充電が不足しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリステータスライトが青色と橙色に点滅している場合、バッテリが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリステータスライトが橙色に速く点滅している場合、バッテリが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

バッテリの温度を確認してください — バッテリの温度が 0° C 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントをテストします — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — 電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを使用せずにコンピュータに電源が入るか確認します。

電気的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します — 電源管理の設定については、Dell テクノロジガイドを参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯するのに、ディスプレイに何も表示されない場合には、メモリモジュールを取り付けなおします。

Windows Vista® オペレーティングシステムにおけるソフトウェアおよびハードウェア問題のトラブルシューティング

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されない、または検知されても設定が正しくない場合は、Windows Vista ヘルプとサポートを利用して非互換性の問題を解決します。Windows Vista は新しいオペレーティングシステムなので、多くの旧型デバイスには Windows Vista 用のドライバまたはアプリケーションがありません。デバイスに関する詳細は、ハードウェア製造元にお問い合わせください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

2 **Find an answer**（回答の検索）セクションで、**Troubleshooting**（トラブルシューティング）をクリックします。

   または

   検索フィールドに `hardware troubleshooter`（ハードウェアに関するトラブルシューティング）と入力し、<Enter> を押します。

3 検索結果で、問題に最も適切なオプションを選択し、トラブルシューティング手順に従います。

メモ : Troubleshooting（トラブルシューティング）の分類項目で回答が見つからない場合、ウィンドウ上部の Search Help（検索ヘルプ）フィールドに質問を入力してオンラインヘルプにアクセスできます。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Windows Vista® には、お使いのコンピュータ上の重要ファイルのバックアップを作成したり、コンピュータ全体をバックアップできるバックアップと復元センターがあり、必要に応じて、オペレーティングシステムまたはファイルを復元できます。
- Microsoft Windows Vista のシステムの復元は、お使いのコンピュータをデータファイルに影響させることなく以前の状態に戻します。オペレーティングシステムを復元し、データファイルを保持する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。手順については、46 ページの「Windows Vista システムの復元の使い方」を参照してください。

- コンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属している場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』メディアを使用すると、ハードディスクドライブ上のデータがすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合に<u>のみ</u>、このメディアを使用してください。

Windows Vista システムの復元の使い方

Windows Vista オペレーティングシステムでは、ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定に行った変更によりコンピュータの動作が不安定な状態になった場合、コンピュータを以前の作業状態に（データファイルに変更を加えることなく）戻すことを可能にするシステムの復元が利用できます。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**Start**（スタート）
→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

注意 : データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの監視や、データファイルの復元は行いません。

メモ : このマニュアルに記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、お使いのコンピュータをクラシック表示に設定している時には適用されない場合があります。

復元ポイントの作成

Windows Vista バックアップと復元センターから、自動的に、および手動で復元ポイントを作成できます。Windows Vista Backup のバックアップと復元センターにアクセスするには 2 つの方法があります。

1 **Start**（スタート）→ **Welcome Center**（ウェルカムセンター）をクリックします。**Get started with Windows**（ウィンドウの開始）セクションで、**Show all 14 items...**（14 項目のすべてを表示）→ **Back Up and Restore Center**（バックアップと復元センター）をクリックします。

2 **Start**（スタート）→ **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Maintenance**（メンテナンス）→ **Back Up and Restore Cente**（バックアップと復元センター）をクリックします。**Tasks**（タスク）で、**Create a restore point or change settings**（復元ポイントの作成、または設定を変更）をクリックします。

詳細に関しては、

1 **Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックしてください。

2 検索フィールドで `System Restore`（システムの復元）と入力し、次に <Enter> を押します。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、デバイスドライバロールバックを使用して問題を解決します。デバイスドライバロールバックで問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

注意：コンピュータを以前の作業状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **Start**（スタート）→ **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Backup and Restore Center**（バックアップと復元センター）をクリックします。
2. タスクのリストで、**Repair Windows using System Restore**（システムの復元を使用して Windows を修復する）をクリックします。
3. アプリケーションを実行する許可を求める **User Account Control**（UAC）（ユーザーアカウントコントロール）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックします。
4. **System Restore** （システムの復元）ウィンドウで **Next**（次へ）をクリックし、最新の復元ポイントを最新順に表示します。
5. **Show restore points older than 5 days**（経過日数が 5 日を超えている復元ポイントを表示する）のチェックボックスを選択し、すべての復元ポイントを一覧表示します。
6. 復元ポイントを選択します。最新の復元ポイントから復元します。これで問題が解決しない場合は、その次に新しい復元ポイントを使用します。問題が解決するまでこの手順を繰り返します。選択した復元ポイントより後にインストールされたソフトウェアは、すべて再インストールする必要があります。
7. **Next**（次へ）→ **Finish**（完了）をクリックします。
8. 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。
9. システムの復元がデータの収集を完了すると、コンピュータが再起動します。
10. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用して復元手順を繰り返すか、復元を取り消すことができます。

復元処理中にエラーメッセージが表示された場合には、画面の指示に従ってエラーを修正してください。

最後のシステムの復元の取り消し

注意：最後のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。
2 `System Restore`（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。
3 **Undo my last restration**（以前の復元を取り消す）を選択して、**Next**（次へ）をクリックします。

コンピュータの工場出荷時デフォルト設定への復元

Dell Factory Image Restore オプションを使用すると、お使いのハードディスクドライブを、デルから購入されたときの工場出荷時の構成に復元できます。このオプションは Windows Vista® があらかじめインストールされている Dell コンピュータには表示されますが、Express Upgrade プロモーションで購入されたコンピュータ、または他のバージョンの Windows から Windows Vista へアップグレードしたコンピュータには含まれていません。

注意：コンピュータを工場出荷時のデフォルト構成に復元すると、C ドライブ上のすべてのデータが削除されます。この処理を実行する前に、個人ファイルをバックアップしてください。個人ファイルのバックアップをとらない場合、そのデータは失われます。

1 コンピュータを再起動します。再起動には、**Start**（スタート） → → **Restart**（再起動）をクリックします。
2 コンピュータが再起動したら、**Advanced Boot Options**（詳細起動オプション）メニューが画面に表示されるまで <F8> を押します。

   メモ：<F8> キーは、Windows のロゴが画面に表示される前に押す必要があります。Windows ロゴが画面に表示された後に <F8> を押した場合、**Advanced Boot Options**（詳細起動オプション）メニューは画面に表示されません。**Advanced Boot Options** メニューが表示されなかった場合は、コンピュータを再起動し、メニューが画面に表示されるまでこの手順を繰り返してください。

3 < 下矢印 > を押して、**Advanced Boot Option**（詳細起動オプション）メニューの **Repair Your Computer**（コンピュータの修理）を選択し、<Enter> を押します。
4 希望の言語設定を指定し、**Next**（次へ）をクリックします。
5 管理者権限を持つユーザーとしてログインし、**OK** をクリックします。
6 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。
7 **Dell Factory Image Restore** ウィンドウで、**Next**（次へ）をクリックします。

8 **Yes, reformat hard drive and restore system software to factory condition**（はい、ハードディスクドライブを再フォーマットして、システムソフトウェアを工場出荷時の状態に復元します）のチェックボックスを選択します。

9 **Next**（次へ）をクリックします。これで、コンピュータは、工場出荷時のデフォルト構成に復元されます。

10 復元の操作が終了したら、**Finish**（完了）をクリックしてコンピュータを再起動します。

4

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

警告 : コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を完了します。

1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、31 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

2 Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行手順については、31 ページの「起動前システムアセスメント（PSA）診断および Dell 32 Bit Diagnostics」を参照してください。

3 54 ページの「診断チェックリスト」に必要事項を記入してください。

4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）をご覧ください。デルサポートオンラインのより詳細なリストについては、52 ページの「オンラインサービス」を参照してください。

5 これまでの手順で問題が解決されない場合、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ : デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

デルサポートの利用方法については、52 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

メモ : これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ ハードウェアに関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 53 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、お客様の監視の下でブロードバンド接続を通じてコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができるようになります。DellConnect には、Dell Support Center（デルサポートセンター）からアクセスできます（35 ページの「Dell Support Center（デルサポートセンター）」を参照）。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください。

www.dell.com

www.dell.com/ap（アジア / 太平洋諸国のみ）

www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

www.dell.com/la（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

www.dell.ca（カナダのみ）

デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび E- メールアドレスをご利用ください。

- デルサポートサイト
  support.dell.com

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com （ヨーロッパのみ）

- デルサポートの E- メールアドレス
  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

  apsupport@dell.com （アジア / 太平洋諸国）

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト **www.dell.com/jp** をご覧ください。お住まいの地域での電話番号、または販売担当者の電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際には、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードを利用すると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、サービスタグ（コンピュータの背面または底部にあります）が必要な場合もあります。

診断チェックリストに前もってご記入ください（54 ページの「診断チェックリスト」を参照）。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力や、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。

診断チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー (コンピュータ背面または底面のバーコードの番号)：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか ? はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。

 メモ : インターネット接続の環境にない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、『デルへのお問い合わせ』テックシート、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせは、次の手順を実行してください。

1. **support.jp.dell.com** へアクセスします。
2. ページの下にある **Choose A Country/Region**（国 / 地域の選択）ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
3. ページの左側にある **Contact Us** （お問い合わせ）をクリックします。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。
5. ご自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選んでください。

付録

FCC 規定（米国 のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件に従って使用してください。

- 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
- 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

注意 : FCC 規則では、Dell Inc. によって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に注意してシステムの位置を変えてください。
- システムを受信機から離して置いてください。
- システムを別のコンセントに差し込み、システムと受信機の分岐回路が異なるようにしてください。

必要に応じて、弊社のカスタマーケアまたはラジオ / テレビの経験を積んだ技術者に連絡し、アドバイスを受けてください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

製品名：	Dell™ Studio 1735
モデル番号：	PP31L
会社名：	Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国 特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

索引

た

な

は

ま